

5

【 絶滅のおそれのある生きもの 】

▶ 絶滅のおそれのある生きものとは？

動物や植物の中には、昔に比べてずっと数が少なくなっていたり、あまり生息・生育の様子が調べられていなかったりする種類があります。このまま放っておくと、絶滅してしまう動物や植物が出てきてしまう可能性があります。

そこで、国や県ではこれらの種類の動植物を「絶滅のおそれのある種」としてリストを作成・公表し、保全に向けた啓発を行っています。

下の表は、貴重動植物の絶滅の危険度を環境省で決めたものと、静岡県で決めたものです。どちらも上の方の 카테고리（仕分けの基準）のものほど、危険度が高くなります。



環境省のカテゴリ		静岡県のカテゴリ		危険度の内容
絶滅（EX）		絶滅（EX）		▶ 絶滅したと考えられる種
野生絶滅（EW）		野生絶滅（EW）		▶ 飼育・栽培下でのみ存続している種
絶滅 危惧 Ⅰ類	絶滅危惧ⅠA類 （CR）	絶滅 危惧 Ⅰ類	絶滅危惧ⅠA類 （CR）	▶ ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
	絶滅危惧ⅠB類 （EN）		絶滅危惧ⅠB類 （EN）	▶ ⅠAほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類（VU）		絶滅危惧Ⅱ類（VU）		▶ 絶滅の危険性が増大している種
準絶滅危惧（NT）		準絶滅危惧（NT）		▶ 存続基盤が脆弱な種
情報不足（DD）		情報不足（DD）		▶ 評価するだけの情報が不足している種
地域個体群（LP）		地域個体群（LP）		▶ 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
なし		要注 目種	現状不明（N-I）	▶ 現状が不明な種
			分布上注目種（N-II）	▶ 絶滅の危険性は小さいが、分布上注目される種
			部会注目種（N-III）	▶ その他各部会で注目すべきと判断した種



ニホンウナギ



ミナミメダカ



ヤマセミ



モリアオガエル



アオハダトンボ



オオチャバネセセリ



ハイケボタル



カワヂシャ

絶滅のおそれのある生きもののリスト

分類群	種 名	環境省 レッドリスト	静岡県レッドデータブック		
			全県	東部※	伊豆※
魚類	ニホンウナギ	EN			
	タモロコ		N-II	N-II	
	ドジョウ	DD			
	シマドジョウ		N-II	N-II	N-II
	サツキマス（アマゴ）	NT	N-II	N-II	N-II
	ミナミメダカ	VU	VU	CR	CR
	イッセンヨウジ		N-III		N-III
	テングヨウジ		N-III		N-III
	カマキリ	VU	NT	NT	NT
	ウツセミカジカ（回遊型）	EN	VU	NT	VU
	カワアナゴ		N-III	N-III	N-III
	チチブモドキ		N-III	N-III	N-III
	ヒナハゼ		N-III	N-III	N-III
鳥類	イカルチドリ		NT		
	ヤマセミ		VU		
	コシアカツバメ		NT		
	ノビタキ		N-II		
両生類	モリアオガエル		NT		
	カジカガエル		NT		
爬虫類	クサガメ		N-III		
哺乳類	カヤネズミ		NT		
昆虫類	アオハダトンボ	NT	NT		
	ホンサナエ		NT		
	ハネナガイナゴ		N-III		
	オオチャバネセセリ		VU		
	ヒゲコガネ		DD		
	ヘイケボタル		NT		
	ヤマトアシナガバチ	DD			
	アカウキクサ	EN	VU		
植物	オオアカウキクサ	EN	NT		
	コギシギシ	VU	EN		
	ニッケイ＊	NT			
	ミシマバイカモ		VU		
	ヒトツバハギ		EN		
	フッキソウ＊		VU		
	ミズマツバ	VU	NT		
	ウスゲチョウジタデ	NT	NT		
	フサモ		N-III		
	ミゾコウシュ	NT	NT		
	カワヂシャ	NT			
	イワヨモギ＊	VU			
	ヒンジモ	VU	VU		
	ナガエミクリ	NT	NT		
	エゾウキヤガラ		N-III		

凡例）東部地域：富士川本支流の流域と伊豆地域の間の地域

伊豆地域：大仁町以南の狩野川右岸流域及び狩野川放水路より南の狩野川左岸流域並びに熱海市以南の地域

※静岡県レッドデータブックの地域別カテゴリーは魚類のみに設定されている。

＊植栽、連出・移入等の可能性がある。

6

【 外来生物 】

▶ 外来生物とは？

「外来生物」とは、もともといなかった国や地域に人間の活用によって導入された生きもののことです。日本には外国から導入されたものだけでも 2,200 種以上の外来生物が定着しているとされています。これらの中にはペット、園芸、観賞用、釣り、食用などのために意図的に導入されたものと、貨物への混入や船舶への付着、飼養施設からの逸出などにより非意図的に導入されたものが含まれます。

なお、「外来生物法」では、生態系や人の身体、農林水産業に悪影響を与えるおそれのある外来生物を「特定外来生物」として指定し、飼養・栽培・保管・運搬・販売・輸入などを規制しています。

植物の外来生物



特定外来生物

■ オオキンケイギク



■ セイタカアワダチソウ



特定外来生物

■ アレチウリ



特定外来生物

■ オオカワヂシャ



■ ムシトリナデシコ



■ ホテイアオイ

動物の外来生物



■ ミシシippアカミミガメ



特定外来生物

■ ウシガエル



特定外来生物

■ カダヤシ



特定外来生物

■ オオクチバス



特定外来生物

■ ブルーギル



■ カムルチー



■ タイリクバラタナゴ



■ ラミーカミキリ

7

【 さくいん 】

ア

アオサギ	12,15
アオダイショウ	17
アオハダトンボ	24
アカテガニ	20
アカネズミ	18
アカメガシワ	22
アキノノゲシ	23
アブラハヤ	7,10
アマゴ	7,10
アユ	8,10
アレチウリ	26
イカルチドリ	12
イソヒヨドリ	13,15
イタチ	18
イノシシ	18
ウグイ	7
ウシガエル	27
ウスゲチョウシタデ	21
ウツセミカジカ	8,10
ウミウ	14
ウラナミシジミ	19
エノキ	21
オイカワ	7,10
オオカワヂシャ	26
オオキンケイギク	26
オオクチバス	27
オオシオカラトンボ	19
オオチャバネセセリ	24
オオヨシキリ	15
オオルリ	14,15
オギ	23
オナガガモ	14,15
オヘビイチゴ	21

カ

カサスゲ	22
カシカ	7
カシカガエル	17
カダヤシ	27
カマキリ	8
カマツカ	7
カムルチー	27
カヤネズミ	18
カルガモ	12,15
カワウ	12
カワガラス	13
カワセミ	12,15
カワヂシャ	21,24

カワラナデシコ	23
キセキレイ	13
クサガメ	17
クサシギ	14
クズ	22
クロベンケイガニ	20
コイ	8
コウボウシバ	22
ゴクラクハゼ	9,10
コクワガタ	19
コサギ	12
コシアカツバメ	13,15

サ

シジユウカラ	13
シマドジョウ	8
シマヨシノボリ	8,10
ジャヤナギ	23
ショウビタキ	14,15
スジエビ	20
スズキ	9
スミウキゴリ	9
セイタカアワダチソウ	26
セグロセキレイ	13

タ

タイリクバラタナゴ	27
タカハヤ	7
タヌキ	18
タモロコ	9
ツクツクボウシ	20
ツグミ	14,15
ツチガエル	17
ツバメ	15
ツマグロヒョウモン	19
ツリガネニンジン	22
ツルヨシ	23
テン	18
ドジョウ	9
トノサマバッタ	19
トビ	12,15

ナ

ナナホシテントウ	20
ニホンアナグマ	18
ニホンアマガエル	17
ニホンウナギ	8,10,24
ニホンカナヘビ	17
ノウサギ	18

ハ

ハマヒルガオ	23
ヒメガマ	22
ヒラテテナガエビ	20
ブルーギル	27
ハイケボタル	19,24
ホオジロ	13
ホザキノフサモ	23
ホシササキリ	19
ホテイアオイ	26
ボラ	9,10

マ

マガモ	14,15
マハゼ	9
ミシシippアカミミガメ	27
ミシマバイカモ	21
ミソコウシュ	21
ミソソバ	21
ミナミメダカ	9,24
ミヤマアカネ	19
ムシトリナデシコ	26
モクズガニ	20
モズ	13,15
モツゴ	8
モリアオガエル	17,24

ヤ

ヤナギタデ	21
ヤマカガシ	17
ヤマセミ	12,24
ヤマトヌマエビ	20
ユリカモメ	14,15
ヨシ	22
ヨモギ	22

ラ

ラミーカミキリ	27
ルリヨシノボリ	7

ワ

ワレモコウ	23
-------	----

8

【 おわりに 】

この50周年記念誌は、狩野川水系で見られる魚類、鳥類、植物などの生きものを写真で紹介しています。狩野川水系の河川により親しんでいただくこと、絶滅の恐れのある生きものがいること、外来生物の実態を認識していただくことなどを目的として、みなさまのお役に立てていただきたく、編集・発行いたしました。



引用文献

- 国土交通省. 河川水辺の国勢調査. 狩野川水系・全年度データ（植物、魚類、底生、鳥類、両生類・爬虫類、昆虫類、環境基図）.
- 静岡県. 2016. 静岡県河川指定調書（平成27年版）.
- 静岡県. 1993. 静岡県河川便覧（平成4年版）.
- 総務省統計局. 2016. 平成27年国勢調査.
- 環境省レッドリスト. 2015.
- 静岡県. 2004. まもりたい静岡県の野生生物－県版レッドデータブック－.
- 多紀保彦監修. 財団法人自然環境研究センター編著. 2008. 日本の外来生物.

写真提供

- 狩野川水系水質保全協議会・各支部
- 株式会社環境アセスメントセンター
（元木達也、酒井孝明、安達修、堀内純、小長谷尚弘、加藤健一、今井久子）

狩野川の自然

～狩野川水系水質保全協議会 50周年記念誌～

発 行：狩野川水系水質保全協議会
事 務 局：三島市環境政策課
編 集：株式会社環境アセスメントセンター
発行年月日：平成28年9月

